

経済動向調査のまとめ

平成31年03月値

令和1年6月20日 発行

この景気動向調査のまとめは、下記の実施機関の調査資料をまとめたものです。

会員事業所の経営計画等の判断にご活用いただければと思います。

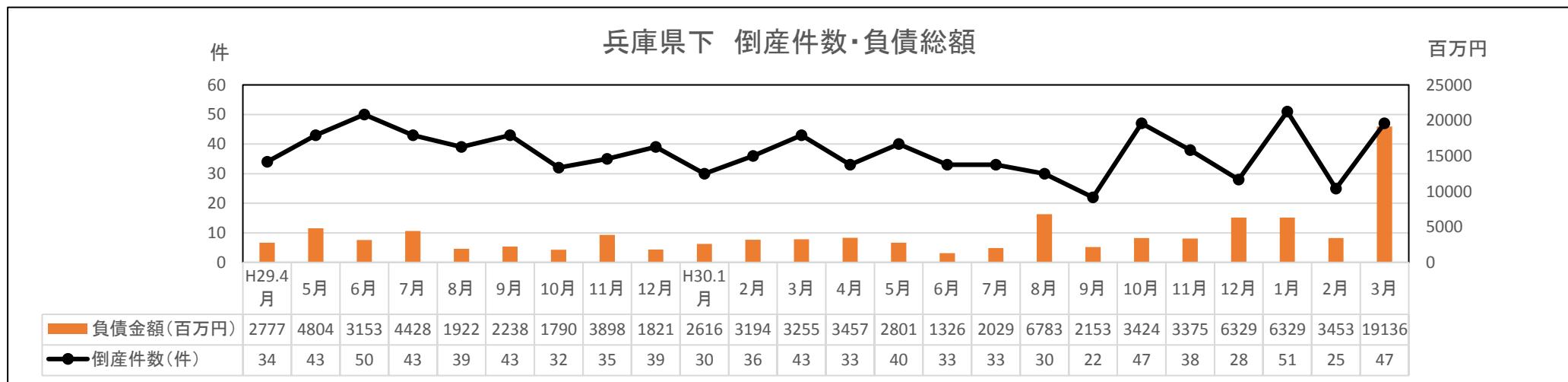
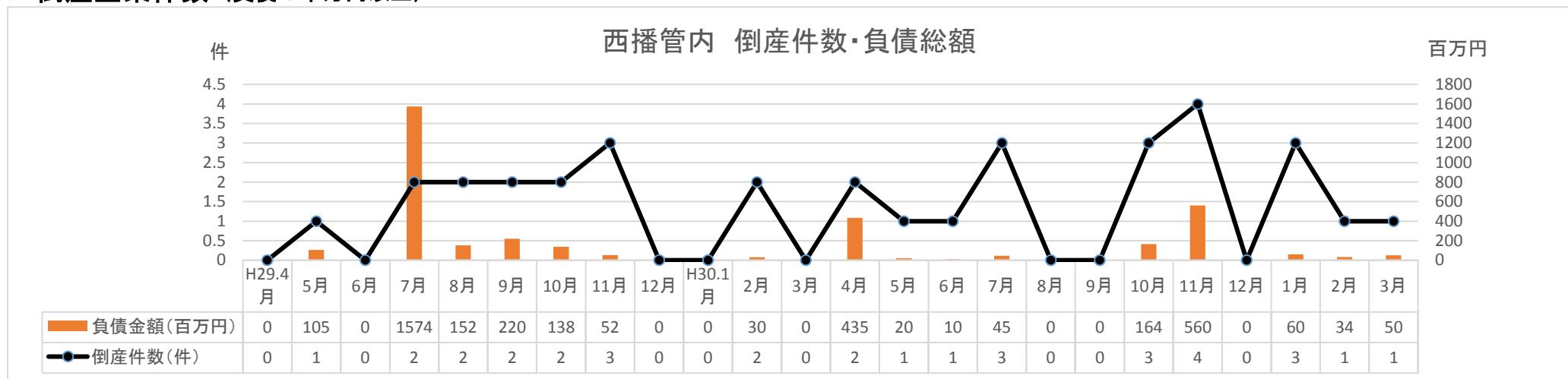
※業種別等の詳細資料をご希望の方は、商工会事務局(TEL 0790-82-2218)へご連絡ください。

経済動向調査 参照元

調査資料	実施機関	調査対象	数値時期
地域経済景況調査	兵庫県西播磨県民局	西播磨県民局管内	H31.03
全国中小企業動向調査(小企業データ)	日本政策金融公庫	小企業(6,458社)	H31.01～03
小規模企業景気動向調査	全国商工会連合会	全国300商工会の調査	未発表
にししん景況レポート	西兵庫信用金庫	西播磨地域 101社	H31.01～03

佐用町商工会

1. 倒産企業件数（負債1千万円以上）



【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

西播磨管内

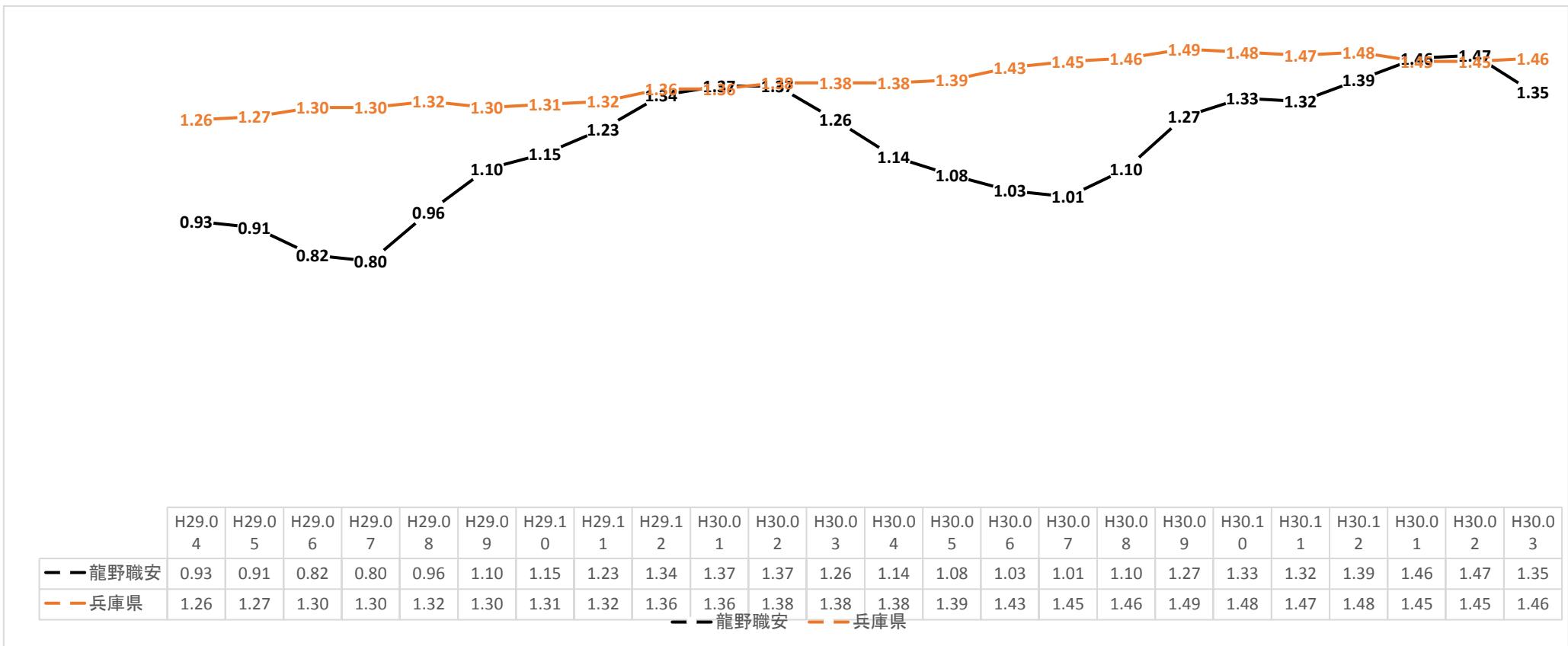
西播磨の3月の企業倒産件数は1件（前年同月0件）となっている。
西播磨の3月の負債総額は50百万円となっている。（前年同月0円）

兵庫県下

県下の3月の企業倒産件数は47件（前年同月43件）となっている。
なお、県下の3月の負債総額は、191億36百万円（対前年同月比487.9%増）となっている。（前年同月31億55百万円）

2. 西播磨の有効求人倍率の推移

西播磨の3月の有効求職者数は、3,216人、有効求人数は4,357人で、有効求人倍率は1.35倍。
なお、兵庫県全体の有効求人倍率（季調値）は1.46倍で対前年同月比で0.2ポイント上昇した。



【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

有効求人倍率とは、「求人数（仕事の数）」を「仕事をしたい人の数」で割ったものです。
これは、世の中にどれくらい求人（仕事）があって、それにどれくらい応募（仕事をしたい人）があるかを表しています。
たとえば、仕事の案件が100件あり、そこに200人応募していたら、有効求人倍率は「0.5」になります。
逆に、求人募集が200件あって、それに応募する人が100人しかいない場合、有効求人倍率は「2」になります。

DI値とは-----

例えば、売上額DIの場合、経営者等に売上状況を、(1)良い(2)やや良い(3)普通(4)やや悪い(5)悪いの5段階により調査します。

その回答が、(1)良い 10% (2)やや良い 15% (3)普通 35% (4)やや悪い 15% (5)悪い 25%だったとすると

$$[(1)10\% + (2)15\%] - [(4)15\% + (5)25\%] = [25\%] - [40\%] = \Delta 15\% \text{ --- DI値}$$

DI値△15%とは、「良い」という回答より「悪い」と回答した経営者が15%多いことになる。

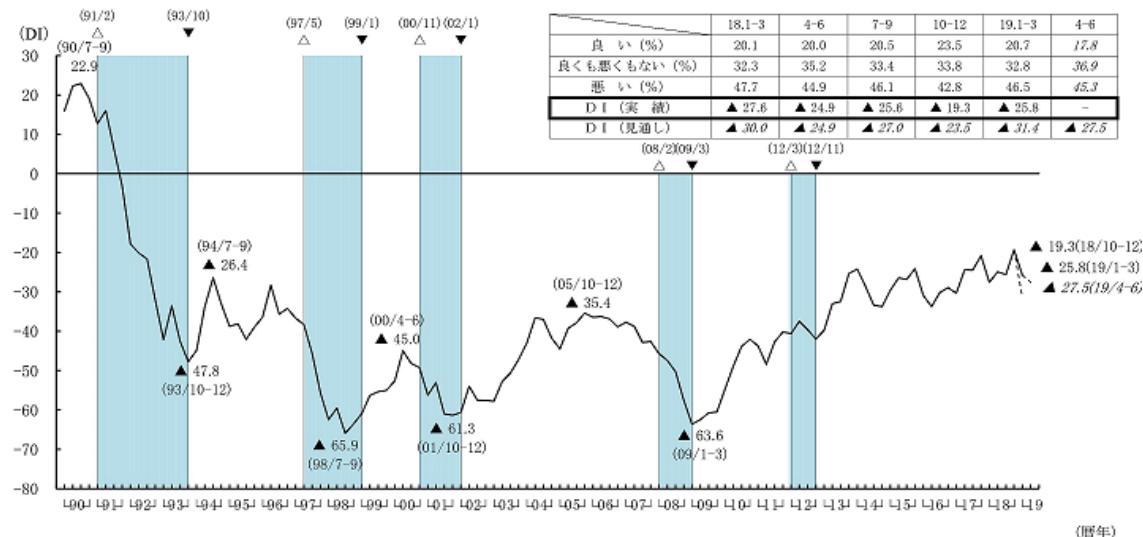
ただ、DI値は結果数値なので、「良い」「悪い」水準比較も必要である。

3. 業況

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2018年10-12月期）からマイナス幅が6.5ポイント拡大し、▲25.8となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大し、▲27.5となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



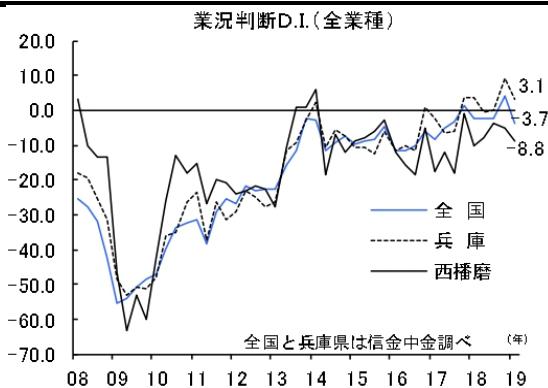
【資料 株日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査】

**全国連の発表がありません。
発表後、追加します。**

【資料 全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査】

~景況感は低下~

19年1～3月期(今期)の業況判断D.I.は△8.8と、前期比3.8ポイント低下した。前期に比べ業況が「良い」と回答した企業の割合が6.1ポイント低下した一方、「悪い」と回答した企業の割合が2.2ポイント低下したことによる。前期に比べ売上額の減少により、収益が低下したことが主な要因である。前年同期比の売上額判断D.I.は△1.0と前期比6.0ポイント低下し、同収益判断D.I.は△8.8と前期比1.9ポイント低下した。業種別の業況判断D.I.は、卸売業・小売業・不動産業で改善し、製造業・サービス業で低下した。建設業は横ばいであった。



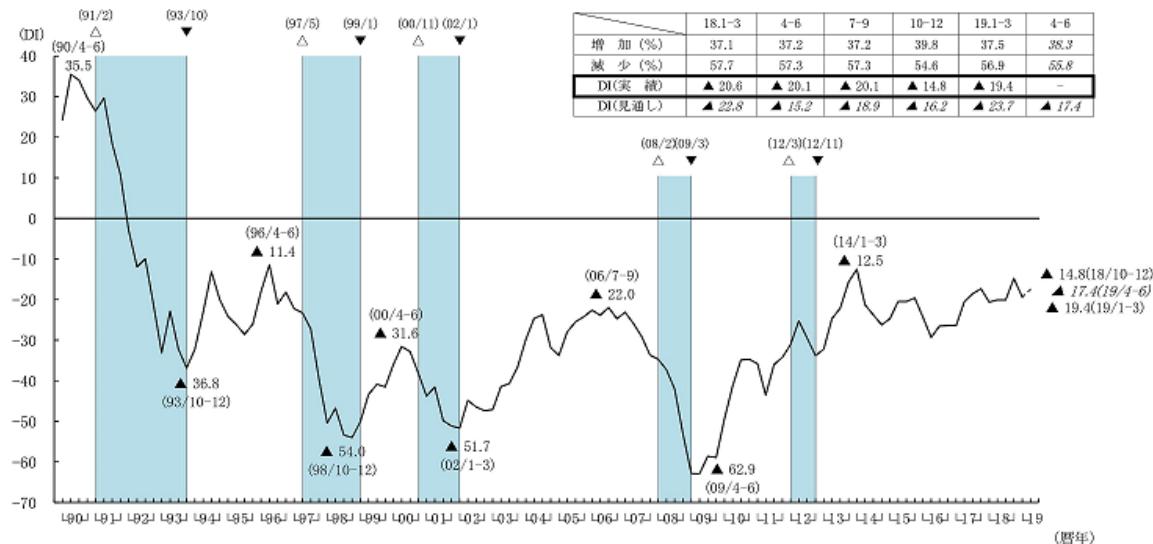
【資料 西兵庫信用金庫 にししん景況リポート】

4. 売上

2. 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が4.6ポイント拡大し、▲19.4となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-4 売上DIの推移(全業種計)



【資料 (株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査】

全国連の発表がありません。
発表後、追加します。

【資料 全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査】

前期に比べ売上額の減少により、収益が低下したことで景況判断D.I.値が3.8ポイント低下した。

前年同期比の売上額判断D.I.は△1.0と前期比6.0ポイント低下し、同収益判断D.I.は△8.8と前期比1.9ポイント低下した。業種別の業況判断D.I.は、卸売業・小売業・不動産業で改善し、製造業・サービス業で低下した。建設業は横ばいであった。

グラフ無し

～販売価格判断D.I.は改善・仕入価格判断D.I.は上昇～

販売価格判断D.I.は5.9と、前期比1.9ポイント改善した。仕入価格判断D.I.は、27.5と前期比0.2ポイント低下した。

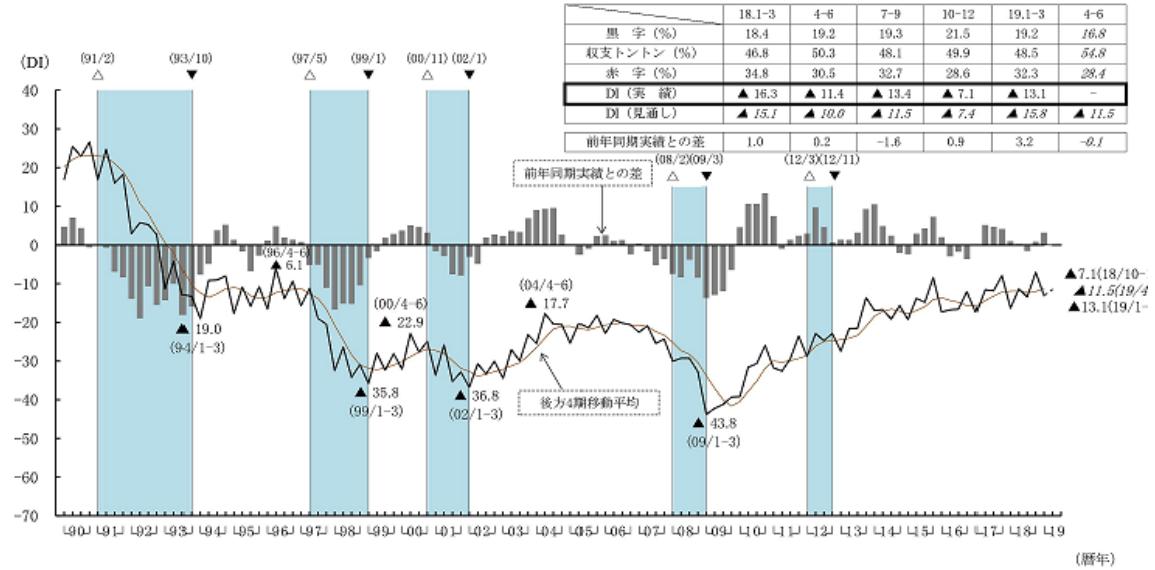
【資料 西兵庫信用金庫 にししん景況リポート】

5. 採算

3 採 算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が6.0ポイント拡大し、▲13.1となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-5 採算DIの推移（全業種計）



【資料 (株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査】

全国連の発表がありません。
発表後、追加します。

【資料 全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査】

～販売価格判断D. I. は改善・仕入価格判断D. I. は上昇～
販売価格判断D. I. は5.9と、前期比1.9ポイント改善した。仕入価格判断D. I. は、27.5と前期比0.2ポイント低下した。

グラフ無し

【資料 西兵庫信用金庫 にししん景況リポート】

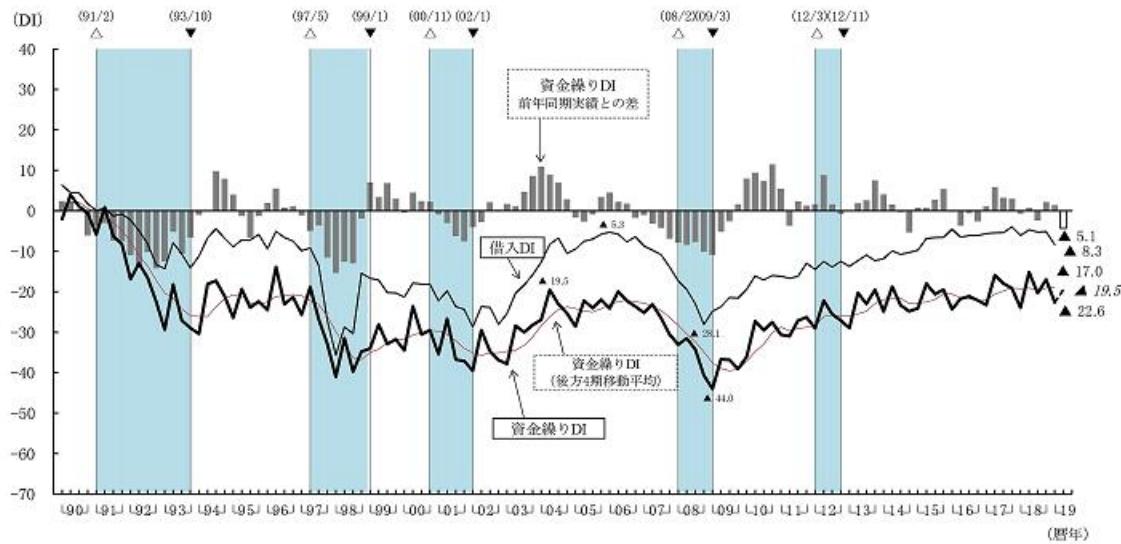
6. 資金繰り

4 資金繰り、借入

○ 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が5.6ポイント拡大し、▲22.6となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

○ 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が3.2ポイント拡大し、▲8.3となった。

図-6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



【資料 (株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査】

全国連の発表がありません。
発表後、追加します。

【資料 全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査】

～資金繰判断D.I.は低下～

資金繰判断D.I.は△11.8と、前期比0.9ポイント低下した。

業種別では、小売業が前期比11.8ポイント、建設業が同11.1ポイント改善した。

業種別では、卸売業が同9.1ポイント、不動産業が同20.0ポイント低下した。サービス業は横ばいであった。

